

作成日: 2023/09/14

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称:

製品名称: ネオクリエイトG

製品番号 (SDS NO): 160-1

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途: 食品機械用潤滑剤・食品用離型剤

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称: 日本フイリン株式会社

住所: 東京都中央区日本橋馬喰町2-7-13第8東洋ビル4階

電話番号: 03-5643-6381

FAX: 03-5643-6382

緊急連絡先電話: 03-5643-6381

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

エアゾール: 区分 1

健康に対する有害性

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 1(循環器系)

特定標的臓器毒性(単回ばく露): 区分 3(麻酔作用)

特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分 1(中枢神経系)

(注) 記載なきGHS分類区分: 区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

極めて可燃性の高いエアゾール

高圧容器: 熱すると破裂のおそれ

臓器の障害(循環器系)

眠気又はめまいのおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害(中枢神経系)

注意書き

安全対策

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

裸火または他の着火源に噴霧しないこと。

使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。

ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

特別な処置が必要である。

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。

吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

貯蔵

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

施錠して保管すること。

日光から遮断し、40℃以上の温度にばく露しないこと。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

エアゾール製品に関する高圧ガス保安法の警告注意表示

使用中噴射剤が噴出する構造のもの(火災発生状態試験による火災が認められるもの又は噴射剤として可燃性ガスを使用しているもの)

火気と高温に注意

高圧ガスを使用した可燃性の製品であり、危険なため、下記の注意を守ること。

炎や火気の近くで使用しないこと。

火気を使用している室内で大量に使用しないこと。

高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所や火気等の近くなど温度が40℃以上となる所に置かないこと。

火の中に入れていないこと。

使い切って捨てること。

高圧ガス:

LPG

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 :

混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
食用油脂	-	70 - 80	-
n-ブタン	106-97-8	10 - 20	2-4
イソブタン	75-28-5		2-4
プロパン	74-98-6	10 - 20	2-3

注記: これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

n-ブタン, イソブタン,

プロパン(令和8年4月1日施行)

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

n-ブタン, イソブタン,

プロパン(令和8年4月1日施行)

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚(又は髪)に付着した場合

皮膚に付着した場合: 多量の水/適切な薬剤で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。

その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

口をすすぐこと。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状

徴候症状及び影響に関する具体的な情報なし。

医師に対する特別な注意事項

特別な処置が必要である。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

火災の場合は霧状水、耐アルコール泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

使ってはならない消火剤

噴流水を消火に用いてはならない。

特有の危険有害性

燃焼の際に有毒な炭素酸化物を生成する。

加熱すると容器が爆発するおそれがある。

蒸気は空気と爆発性の混合物を形成するおそれがある。

蒸気は空気よりも重い。地面に沿って広がり、着火源に達するとフラッシュバックするおそれがある。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

霧状水により容器を冷却する。

安全に対処できるならば、製品容器を火災危険区域から移動すること。

消火作業は、可能な限り風上から行う。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

防火服又は防炎服を着用すること。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。

適切な保護具を着用する。

着火源を取除くとともに換気を行う。

風上から作業し、風下の人を退避させる。

安全に対処できる場合は漏洩を止める。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。

下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

十分な換気を行い、速やかに大気中に拡散、希釈させる。

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

多量に流出した場合、盛土で困ってのち処理する。

回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。

清浄な帯電防止工具を用いて吸収したものを集める。

二次災害の防止策

着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。

全ての発火源を取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)

排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(火災・爆発の防止)

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

裸火または他の着火源に噴霧しないこと。

静電気放電に対する措置を講ずること。

エアゾール製品に関する高圧ガス保安法の警告注意表示

火の中に入れていないこと。

炎や火気の近くで使用しないこと。

火気を使用している室内で大量に使用しないこと。

(局所排気、全体換気)

排気/換気設備を設ける。

(注意事項)

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

安全取扱注意事項

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。

接触回避

強酸化性物質、過酸化物、可燃物との接触を避けること。

衛生対策

眼、皮膚、衣類につけないこと。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗う。

保管

安全な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

涼しいところに置き、日光から遮断すること。

施錠して保管すること。

エアゾール製品に関する高圧ガス保安法の警告注意表示

高温にすると破裂の危険があるため、直射日光の当たる所や火気等の近くなど温度が40℃以上となる所に置かないこと。

(避けるべき保管条件)

直射日光、高温、着火源(裸火、火花など)を避けること。

安全な容器包装材料データなし

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度データなし

許容濃度

(n-ブタン)

日本産衛学会(1988) 500 ppm; 1,200 mg/m³

(イソブタン)

日本産衛学会(1988) 500 ppm; 1,200 mg/m³

(n-ブタン)

ACGIH(2017) STEL: 1,000 ppm(EX) (中枢神経系障害)

(イソブタン)

ACGIH(2017) STEL: 1,000 ppm(EX) (中枢神経系障害)

(プロパン)

ACGIH: 付録F参照: 最小酸素濃度(D,EX) (窒息)

ばく露防止

設備対策

排気/換気設備を設ける。

洗眼設備を設ける。

手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具

換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。推奨材質: 非浸透性もしくは耐化学品ゴム

眼の保護具

側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。

皮膚及び身体の保護具

帯電防止保護衣、静電靴を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態: エアゾール

色: 無色、透明 (内容液)

臭い: 油臭 (内容液)

臭いの閾値データなし

融点/凝固点データなし

沸点又は初留点: (プロパン) -42 °C

沸点範囲データなし

可燃性(ガス、液体及び固体): 引火性

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界:

爆発下限: 1.8 vol % (n-ブタン)

爆発上限: 9.5 vol % (プロパン)

引火点: (迅速平衡密閉法) (内容液) 220 °C

自然発火点: (n-ブタン) 365 °C

分解温度データなし

pHデータなし

動粘性率データなし

溶解度:

水に対する溶解度データなし

溶媒に対する溶解度データなし

n-オクタノール/水分配係数データなし

蒸気圧データなし

密度及び/又は相対密度: 0.92 (内容液)

相対ガス密度(空気=1)データなし

粒子特性: 適用外

10. 安定性及び反応性

反応性

反応性データなし

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

危険有害反応可能性データなし

避けるべき条件

直射日光、高温、着火源(裸火、火花など)を避けること。

混触危険物質

強酸化性物質、過氧化物、可燃物

危険有害な分解生成物

熱分解により以下の物質を生成する。

炭素酸化物

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

急性毒性(経皮)

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

急性毒性(吸入)

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(n-ブタン)

gas: rat LC50=276,798.8 ppm/4hr (DFGOT vol.20, 2003)

(イソブタン)

gas: mouse LC50=376,696 ppm/4hr (cal.) (DFGOT vol. 20, 2003)

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

呼吸器感作性又は皮膚感作性

呼吸器感作性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

皮膚感作性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

生殖細胞変異原性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

発がん性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

生殖毒性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[製品]

区分 1, 臓器の障害

区分 3, 眠気又はめまいのおそれ

[成分データ]

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(イソブタン)

循環器系 (Patty 6th, 2012; DFGOT vol. 20, 2003)

[区分3(麻酔作用)]

[日本公表根拠データ]

(n-ブタン)

麻酔作用 (DFGOT vol.20, 2003; ACGIH 7th, 2001)

(イソブタン)

麻酔作用 (DFGOT vol.20, 2003)

(プロパン)

麻酔作用 (ACGIH 7th, 2001)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[製品]

区分 1, 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

[成分データ]

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(n-ブタン)

中枢神経系 (DFGOT vol.20, 2003; PATTY 6th, 2012)

誤えん有害性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

[製品]

データ不足のため、分類できない。

[成分データ]

データなし

水溶解度

(n-ブタン)

0.0061 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2003)

(イソブタン)

溶けない (ICSC, 1998)

(プロパン)

0.007 g/100 ml (20°C) (ICSC, 2003)

残留性・分解性

残留性・分解性データなし

生体蓄積性

[成分データ]

(n-ブタン)

log Pow=2.89 (ICSC, 2003)

(イソブタン)

log Pow=2.8 (ICSC, 1998)

(プロパン)

log Pow=2.36 (ICSC, 2003)

土壌中の移動性

土壌中の移動性データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

承認された廃棄物集積場で処理する。

下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。

エアゾール製品に関する高圧ガス保安法の警告注意表示

使い切って捨てること。

汚染容器及び包装

使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。

内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号またはID番号 : 1950

正式輸送名 :

エアゾール、可燃性

分類または区分 : 2.1

容器等級 : 該当しない

指針番号: 126

特別規定番号 : 63; 190; 277; 327; 344; 381

IMDG Code (国際海上危険物規程)

国連番号またはID番号 : 1950
正式輸送名 :
エアゾール、可燃性
分類または区分 : 2.1
容器等級 : 該当しない
特別規定番号 : 63; 190; 277; 327; 344; 381; 959

IATA (航空危険物規則書)

国連番号またはID番号 : 1950
正式輸送名 :
エアゾール、可燃性
分類または区分 : 2.1
危険性ラベル : Flamm. gas
容器等級 : 該当しない
特別規定番号 : A145; A167; A802

環境有害性

海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当

特別の安全対策

特別の安全対策データなし

MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

バルク輸送におけるMARPOL条約付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される有害液体物質に該当しない。

MARPOL条約付属書V - HME(海洋環境に有害)

IMO規則に従うばら積みでの海上輸送は適用されない。

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法

ガス類 引火性ガス 分類2 区分2.1

航空法

高圧ガス 引火性ガス 分類2 区分2.1

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則に該当しない

有機則に該当しない

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

n-ブタン(別表第9の482); イソブタン(別表第9の482);

プロパン(別表第9,令和8年4月1日施行)

名称通知危険/有害物

n-ブタン(別表第9の482); イソブタン(別表第9の482);

プロパン(別表第9,令和8年4月1日施行)

化学物質管理促進(PRTR)法

化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。

消防法

危険物

第4類 引火性液体第4石油類 危険等級 III(指定数量 6,000L) (内容液)

高圧ガス保安法

このエアゾール製品は容器内容積が1リットル以下、及び温度35℃において圧力0.8MPa以下、かつ高圧ガス保安法施行令関係告示第四条第三項に該当するため、高圧ガス保安法の適用除外となります。

化審法における特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN
IMDG Code, 2020 Edition (Incorporating Amendment 40-20)
IATA 航空危険物規則書 第64版 (2023年)
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2023 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
2022 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)
Supplier's data/information
GESTIS-Stoffdatenbank
Pub Chem (OPEN CHEMISTRY DATABASE)

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の見扱いを対象としたものであって、特殊な見扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。
ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 令和3年度(2021年度))です。